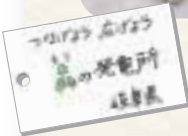


森の発電所。

木くずを使った木質バイオマス発電「森の発電所」で、CO₂削減。



加工過程で出る木くずと、間伐で発生する未利用材を燃料とした、木質バイオマス発電施設。



東濃ひのき製品流通協同組合は、「東濃ひのき」に代表される林業の町、白川町にあります。製材端材等の木くずの処理が問題となっていたことから、木質バイオマス発電施設を整備。加工過程で出る木くずと、間伐で発生する未利用材を燃料とした発電で組合直営工場を稼働し、余熱で木材を人工乾燥しています。日本の木質バイオマス発電施設としては先駆者的存在で、産業廃棄物処理施設等の認可取得を受けています。また、「白川町バイオスタウン構想」と連携し、地域に密着した地域経済の発展を担う環境共生型の「エネルギー循環型社会の構築」を目指しています。

白川町商工会青年部が開催した「ハートフルイルミネーション」に、バイオマス発電の電力を無償で提供。



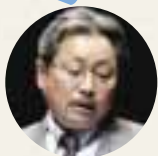
間伐により森林を手入れする。切り出した木材は発電の燃料として活用。

講評

日本は山に囲まれた森林資源の豊かな国ですが、そうした森林資源は発電分野では十分に活用されていません。そこで、特に「東濃ひのき」という材を活かしながら、単に材木というだけでなく、エネルギーとして活用し、温暖化対策につなげた好事例です。今後の全国への広がりを期待します。

受賞者コメント

東濃ひのき製品流通協同組合 渡邊 信吾
繰り返し練習して全国大会に臨みました



「ストップ温暖化一村一品に、投票お願いします」と知り合いの人にメールを配信。前日はストップウォッチ片手に、プレゼンテーションのシミュレーションし、話す内容、スピードを繰り返し、繰り返しチェックして、全国大

会に臨みました。出番が終われば観る側に変身。さすがに各県代表、内容も表現方法も充実しており、同じ物指しでは測れません。また、いい仕事をしてがんばります。

団体名:東濃ひのき製品流通協同組合
所在地:岐阜県加茂郡白川町
ウェブサイト:<http://www.chuokai-gifu.or.jp/thryuutu/>

都道府県大会の名称 **木の国・山の国 わく環(わ)くコンテスト2007「減らそうCO₂」**